●議会日誌●

9月2日 議会運営委員会

9月 9日 【本会議】

○開会・会期の決定

○議案の上程(提案理由説明)

○議案の一部採決

○陳情の上程

○一般質問(2人)

議会運営委員会

10日 【本会議】

○一般質問(4人)

11日 【本会議】

○一般質問(2人)

○議案に対する質疑

○議案及び陳情の委員会付託

○決算審査特別委員会

16日 総務常任委員会

文教民生常任委員会 17日

建設経済常任委員会 18日

25日 【本会議】

○委員長報告(質疑・討論・採 決)

○閉会

議会だより編集委員会

平成20年度一般会計補正予算など8議案を可決

消防署松丘分署が業務開始



新たな防災拠点、消防署松丘分署が、10月4日、業務を開始しました。松丘・亀山・三島地区への 現場到着時間が大幅に短縮され、消防力が向上しました。(業務開始イベントでの消防音楽隊の演奏)

9月定例会のあらまし

9月定例会は、9月9日から25日までの17日間の会期で開かれました。

弱者が救われるのではないか が導入されれば、多くの交通

今定例会では、市長から提出された、平成20年度君津市一般会計補正予算(第2号)をはじめ、 8議案が審議され、いずれも原案のとおり可決されました。平成19年度君津市一般会計、7特別 会計の歳入歳出決算および水道事業決算の認定については、特別委員会を設置し、閉会中の継続 審査となりました。

また、継続審査となっていた請願1件および陳情3件が併せて審議され、いずれも不採択とな りました。

小紙地区を通って、小棚、上総地区な

12月定例会は 11月28日(金) 開会予定です

スターミナル止 では、7月6日 では、7月8日 では、7月8日

5路線が運行されていおよび鴨川・千葉線の東京線、鴨川・東京線羽田空港線、木更津・ 便のうち、 便のまりと でのうちと でのうち



・東京線はダイヤ改正でさらに便利に

中核的な病院である君津中央君津駅周辺の市街地や地域のる。特に、小櫃、上総地区と ○ に ○ 交通弱者の交通手段を確 の対し、市民の満足度を高める で通弱者の交通手段を確 の確保は、双方向の移動交通 病院を経由する公共交通機関 とって極めて重要なことであ

進ちょく状況を伺いたい。

ついて、伺いたい。高速バス路線の整備に

係する高速バー現在、本市 がバスは、

な路線の確保、充実についての利便性の向上のため、新た 考えている。 が、充実してきているものと さらなる市民生活

導入後の運営方法や路線設定把握し、その導入の方向性と手段を必要としているのかを をもとに、JRやバス事業者、 る必要があること でどのような交通手段、移動 にアンケート調査 などを検討する基礎資料を得 導入に向けて協議していき その後、 一総地区の住民が、日常生活、線の導入については、小櫃、 用者などの関係者 らのデータ を実施する。 から、早急

ットワークも徐々にではある 首都圏域における高速バスネ 港線の運行が計画されており、また、新たに君津・成田空 進めている。 浜乗り入れについて、 協議を

者と既存の館山・横浜線の君については、現在、バス事業 および増便によるダイヤ改正駅と青堀駅間のルートの変更 津バスターミナル経由での横 を予定している。 **については、現在、バス事業横浜方面への高速バス運行**

して、重要な役割を 児童生徒の貴重な充

副を果たすも は交通手段と

のと考えている。

(仮称) 君津・

久留里城下



般質問は、

ここでは、主な質問と答弁を要約して掲載します。



平成 財 21年度 政

定年および勧奨を合わせ

の増加が見込まれているので

の

る。

いたい。 いくべきと思うが、見解を伺 採用によって平準化を図って るだけ抑制し、非正規職員の また、正規職員の採用をでき のように認識しているのか、 年齢別職員構成について、ど して現状のバランスを欠いた ② 来年度採用予定者数、そ 本年度退職予定者数 考慮し、民間企業などにおけ 解消が必要と考えている。 る職務経験を行政に生かすこ

平均年齢は44歳8カ月、うち ♥日の職員数は935人で、 |歳以上の職員数は264人 28・2%を占めている。 成20年度の退職予定者数 本市の平成20年4月1 多様化などにより、 採用年齢を30歳までとしてい とができるように、上級職の る権限委譲や、市民ニーズの

今後、

地方分権の進展によ

行政需要

町村合併などに対応するため、 年代における急激な都市化本市の職員構成は、昭和40 規採用予定者数は、60人であ て53人であり、平成21年度新 に伴う行政需要の増大や5カ 民間ができるものは民間に任設の管理運営の見直しを進め、行政組織、業務形態、公共施 ている。 員の採用が必要であると考え を進めていくが、一定数の職 せるという原則に立って行政

年齢構成に著しい偏りが生 じていることは認識しており、 一時期大量の職員が採用され、 めに、計画的な定員管理を行 実にそして継続して進めるた っていく。 今後、政策や行政運営を着

現在、

年齢構成の平準化を

(仮称) 上総地域交流 ター整備事業

行政センターの機能充実と公る行政部門の抜本的拡充など、 民館機能充実について、見解 **Q** ンター整備事業におけ (仮称) 上総地域交流セ

を伺いたい。

にあるとおり、主に窓口取次市役所行政センター設置条例政センターについては、君津館を予定し、開館時の上総行 づけ、職員配置についても現 業務を行う出張所として位置 在のとおりとしたい。 て整備する。 地域活動を支援する施設とし 施設は、平成22年10月に開

図書館上総分室を図書コーナ ーと位置づけし、図書館利用 教育施設的な機能について 上総公民館内にある中央

ターならびに上総公民館の複 朽化した既存の上総行政セン ロンター整備事業は、老 (仮称) 上総地域交流 拡充について検討していく。 者などから要望の多い蔵書

ミツバ ハツツジ の

合施設として、また、地域活

性化に資する活動や文化的な

イベントの開催など、多彩な

Ŋ おける自主財源の確保につい を歩道わきに整備していって る草花、地元に自生する花木 はどうか。また、事業推進に 四季折々に、観賞にたえ観賞用山野草の宝庫であ 清和の山は万葉植物、 里づくり

成長しているものの、花芽の 民の森や久留里城周辺に約5 万1千本が植栽され、順調に つきにくい個所も見受けられ、 くりについては、清和県 伺いたい。 ミツバツツジの 里づ

が花保課状護 派題とな

新たな植栽事 学については、 業を行うなど、

ての機能を強 観光資源とし 正の機能を強 より充実し た里づくりを

ている。

どと連携したミツバツツジまため、観光協会や関係機関な をしていただくなど、より充 力を得て、清和県民の森へ通つりの検討や地域の方々の協 地域の活性化に努める。この化し、交流人口の拡大を図り じる道路沿いなどに植栽管理

> ゆかりのある皆さ 本市出身者をはじ

んに広く協 め、本市に

力をお願いしてい

きたい。

境

状況の改善と開いる。

ツバツツ 実したミ



り事業の の里づく 新たな自 推進にあ バツツジ たっては、 ミツ

ジの里づ くりを進

めていく。

による本市への支援について、 「ふるさと納税制度」 必要なこと 主財源の

9月定例会傍聴者数 本会議(4日間)…177人

から、

確保を図ることが

●傍聴ご希望の方は、当日8階の議会事務局 窓口で申し込みください。なお、本会議場の 傍聴席は、72席のため、先着順となります。

特定健診・特定保 指導の取組状況

取り組みと対応について伺い 者数、受診状況や経費などの 特定保健指導について、対象 国民健康保険の特定健診 4月からスタートした

での方を対象に集団健診に着 駆けて、40歳から64歳ま本市では、近隣市に先

いる。 4900万円程度と見込んで 特定保健指導、事務費などで いては、集団健診、個別健診、 特定健診にかかる費用につ

齢者医療制度が導入され、 本年4月から、後期高

ら4歳までの方に医療機関で の個別健診を受診していただ なお、9月からは、65歳か

常に高い受診結果となってい の35%を下回ったものの、 象とした集団健診での受診率 等実施計画の初年度の目標値 34・2%で、特定健康診査 40歳から4歳までの方を対

る。

政府は、一定の見直しをして

室」に参加することになった。 対象となる83人が、生活改善 、の行動を支援する「健康教 この結果、特定保健指導の 大が見込まれる中、 いるが、本制度に対する市民 展に伴い、 ているのか見解を伺いたい。 の思いをどのように受けとめ (については、高齢化の進

施されたところであり、より対する保険料の軽減対策が実る見直しがされ、低所得者に おける運用面の問題点が指摘国においては、制度施行時に された中で、昨今、 を確立する上で必要な制度で するとともに、医療財政基盤 あると受けとめている。また、 世代間の負担の公平を確保 り持続可能な制度を構築して よい制度の実施を目指してい いくために創設されたもので、

療広域連合と連携し、 る制度の安定的な運営を図 るため、千葉県後期高齢者医 国の施策によ

後期高齢者医療制度 めていく。 制度の円滑な実施に向けて努 市民の理解を得られるよう、が安心できる医療制度として、

年度は4自治会から申整備について、平成19

として、現在利家庭ごみのな

順次実施していく。

みづくりを研究して うづくりを研究していれを満足させるため

の現状と課題

医療費の一層の増

国民皆保

険制度を維持し、将来にわた 政府によ 善策について、 治会集会施設の改善や器具、 後の取り組みとして、

の「うんどう教室」が本年度導員により、ふれあい館広場でしたり、いかの地域指 園に 「うんどう教室」を拡大 また、新たに内みのわ運動公 し、あわせて地域指導員の養 から自主的に運営されている。 屋外運動習慣化事業に

健康増進運動教室の今 自

各地域での健康増進運動リー 体制と現状把握を踏まえた改 ダー養成など、具体的な推進 備品充足の要望といったハ ード面の整備について、また. 見解を伺いた

成を図っている。

健康増進モデル事業 (俵田自治会)

った。施設が整備されトイレなどの整備を図

請があり、空調や洋式

れまでに13会場で開講し、こ 健康増進モデル事業は、こ

で改善が見られ、また、長谷区の体力測定の結果では、敏区の体力測定の結果では、敏の事業の検証として、中富地 りやめまいが少なくなった」川地区の参加者からは「肩凝 ている。このようなことから、 った」などの感想が寄せられ 他の自治会からも希望があり 「階段の上り下りが楽にな 「病院へ行く回数が減

にも、 る。 であり、 課題として、

援するソフト面の整備は重要 導研修により資格を取得した や仲間づくりにも役立ってい 地域指導員の皆さんに協力を ているので、3年間の実践指 導員の確保が困難となってき に努めていきたい。そのため いただき、モデル事業の拡大 治会館などに派遣する専門指 地域指導員の活動を支 ど、閉じこもりの防止ン的な利用が始まるな り、交流を楽しむサロ 市内全域の自 のごみの排出量とのバランス み袋の容量単位や るものと考えるが、 るという点で利便性が図られ るようなチケット制について 大・中・小の引き換えができ 集を実施している。 類におよぶ資源ごみ 制を採用し、あわせて、14種 不足分を購入する超過分有料 で足りるよう努め で交換条件が複雑となること 指定ごみ袋引換券で自由に 市民の側でサイズを選べ 量の無料配 本市では、

化事業について、考えを伺いいか、また、せん定木の堆肥 にできるチケット制にできな 中・小の袋の引き換えが自由 る指定ごみ袋引換券制を大・ 配布のごみ袋、ごみは一定 ていただき、)処理方法 の分別収 用してい 社で、最も相応な事美) たり200円となっているが、 たり200円となっているが、 との事業は資源循環を考える は、40リットル当 の販売収入が約340万円と料収入が1200万円、堆肥料収入が1200万円、堆肥ま数 っている。平成19年度のせん80円、事業系は170円とな般家庭は10キログラム当たり く必要がある。 定木や草を堆肥化する場合は、の活用について、現在、せん と考えている。 なり、1800万円あまりの せん定木を含めた資源ごみ

高齢者が自主的に集ま 事業の利用とあわせて たことにより、モデル

化事業について、

すく、やりやすい方法」 利便性を基本に、「わかり 策定する上で、さらに市民の再資源化に向けて基本計画を るよう検討していく。 なお、ごみの減量化および

現行のご

人ひとり

ないのか伺いたい。

談員一人体制を見直す考えは

ックアップ体制も含めた相

現状の消費生活相談員の

また、当面の対策とし

た反面、消費者の生活は情報

高齢化などの急速な進展

は便利で豊かになってき

消費者を取り巻く環境

君津市消費者大学

により、複雑多様化している。

このような状況の中、

から児童生徒を守る対策 ・ンターネットの有害情

結果、小学6年生で24%、中度全国学力・学習状況調査の

電話保有率は、平成19

本市の児童生徒の携帯

インターネットの有害情報

どのような対策を講じている 研修会あるいは講演会など、 ンターネットなどのサイバー いたい。また、携帯電話、イ ❷どの利用実態について伺 罪から児童生徒を守るため、 児童生徒の携帯電話な でおり、 会議などを通じ、児童生徒が あることは十分認識している。 巻き込まれるケースが相次い 学3年生で72%となっている。 有害情報について受信者、 から児童生徒が事件や犯罪に

本市では、かねてより校長

発

その対応策が急務で



どについて指導や啓発を一層

保護者に対しても、携帯電話

| 日末現在では、

7 1 7 人 は、

本市

において

の個人および17団体の方々に

今後も、児童生徒をはじめ

伺いたい。

の指導の徹底を図っている。 な利用方法や情報モラルなど 信者とならないために、適切

学校支援ボランティア

ンティアの現状について 本市における学校ボラ

者被害の救済に努めている。 適切なアドバイスをし、消費 被害に遭われた方に対して 費生活相談を実施し、消費

現

羽田空港再拡

張

ついては、一般道路の渋滞緩

設工事に伴う山砂運搬に

羽田再拡張D滑走路建

南インター国道16号交差点な

している。

どにおいて、

交通渋滞が発生

和と交通安全対策から、高速

道路利用を関係5市長および

路

活センターの設置を検討する

など、その取り組みを強化す

きと考えるが、見解を伺い

口業務のみならず、

消費者生

化するため、市民相談窓

消費者行政を充実、

相談のほかに消費者大学で賢い消費者を育成 消費生活相談員 川崎八重子氏 消費生活相談員1人 を充実させるため

昭和61年度から

多重債務による相談が全相談 平成19年度の相談内容は、 40%を占めており、 次 帯電話などの不当請求などの 況にある。 よる被害者は後を絶たない状 順となっている。また、本市 においても、振り込め詐欺に

加し、専門相談員務の相談件数が増 件の相談に対応し 費生活相談業務は となっている。 の複数配置が必要 雑な相談や多重債 負うところが大き 専門相談員の力に ているが、年々複 消費生活相談 年間2百数十 消

渋滞問題などに直面している。来し、交通安全の問題や車の

用が実現し、一般道路 用が実現し、一般道路への影のETCによる高速道路の利

響が緩和されている。

しかしながら、高速道路利

として多くのダンプカーが往

3市は、山砂の搬出基地

君津、

木更津、

大臣に要望し、山砂運搬車両千葉県知事により、国土交通

ることは難しい点もあると思

生し、特に通勤時間帯に君津用による新たな交通渋滞が発

インター交差点および木更津

本市だけでは直接対策を講ず

うが、交通対策について、

スクールボランティアは地域の教育力向上に貢献 合う機会がふえ、学習方々と児童生徒が触れ識や経験を持つ地域の 全パトロールなどが挙児童生徒の登下校安 じめ、本の読み聞かせ 間などの学習支援をは 活動の充実や学校の環 げられる。ボランティ 学校の環境整備支援 などの読書活動支援や 科や総合的な学習の時 だくことは、多様な知 アとして支援していた

している。 教育力向上につながると期待 れるとともに、地域の境整備などが一層図ら

学校を支援するボランティア 5カ年プラン」に掲げた連携、 する中期教育プランである 庭、地域、行政が一体となり 活力、信頼のもと、学校、家 人材の発掘と活用を通して、 「第一次きみつ教育 創・奏 今後も、君津の教育を推進

で、延ベ1万人以上の活動人ただいており、昨年度1年間

ンティア」として登録してい 「君津さわやかスクールボラ

数となっている。

具体的な活動内容は、

生活

問販売やインターネット、携に健康食品、浄水器などの訪 •••••••

設については、相談員の増 を図る中で、 めながら検討していく。 国の動向を見

欠である。 には相談員の増員が必要不可

今後、消費者センターの開

活用事業をさらに推進してい

是正し、市民全体のサービス が必要であり、地域間格差を 少なくとも中央図書館1館と 域な市域をカバーするために、 核地域への図書館建設が必要 向上のためにも、まず、 図書館分館が2館程度の整備 と考えるが、見解を伺いたい。 、ットワークの構築には広 中央図書館は、全国の 副次

ための資料の蓄積が少ないこ館後歴史も浅く、調査研究の 用状況となっている。 運営の課題については、 し冊数トップとなる高い利 開

れらの利用者や地域へのサー利用が困難になっている。こない地域に関しては、日常的 とはいえ、高齢者や児童など に対するサービスが満たされとや、図書館から離れた地域 ビスについては、公民館分室 の交通弱者や公共交通機関が ていないことが挙げられる。 および学校ステーションを含 中央図書館の利用率が高い

温書館建設でする。

将来の本市の図書館ネ 努める。 もに、 も考慮し、

実施する。

| 同規模自治体2市で貸し

神門地区にお 括的な問題解決策 ける

く横の連携を深めていくこと で問題解決につながると思う の問題も合理的な視点でとら え、総括的に、縦割りではな 土地利用策を考え、移転など 考えを伺いたい。 決するには、有効的な神門地区の問題を解

がされていないことから、 神門地区は、基盤整備

の充実に引き続き努めていく。 め、移動図書館によるサービス また、副次核整備事業で建 歩行者、 狭い道路が多く、 な通行に支障をき 神門地区の土地利用計画

の充実および地域住民の要望とともに、副次核施設として の図書館分室機能を維持する 流センターにおいては、従来設される(仮称)上総地域交 いては、拡張を検討するとと 蔵書のさらなる充実に 図書コーナーにつ

用計画の素案を作成するため、道路網の整備を含めた土地利

については、本年度から生活

神門地区土地利用調査業務を

施設の設置については、今後た地域における新たな図書館なお、中央図書館から離れ 状況などを勘案し、調査研究整備する図書コーナーの利用 を進めていく。

成し、事業の推進を図ってい

た有効的な土地利用計画を作どの問題を含め、連携のとれ

力をいただきながら、移転な今後も、地域の皆さんの協

方向性について、 の理由、また、 説明会が開かれていないこと 事業について、現時点で人見地区の公共下水道 今 の整備 見解を伺い 後の予定と

整備を検討しながら事業を進

はおいて事業を推進している。 一君津富津広域下水道組合 下水道事業については、 今後、人見地区など市街地の大に向けた整備を進めるため、 下水道事業につい 未整備地区についても、公共 ているが、処理開始区域の拡 現在、区画整理事業区域内の 下水道の整備を優先的に進め て調査を実

渋滞緩和のため高速道路を利用 (君津インタ ーチェンジ)

通勤時間帯を極力避け

留スペースの確保に向 交差点信号機の制御時 け、道路構造の改善な 間などの改善と右折滞 た運搬行程、 に要望していく。 どを関係機関に継続的 渋滞する

奥倉文雄議員逝去



故奥倉議員は、平成3年9 66歳。 去る9月5日逝去されました。 市議会議員 奥倉文雄氏は

今後の交通渋滞の緩和対策 砂安全連絡会を通して、 張D滑走路建設工事山 委員会から羽田再拡 庁内対策 第20代市議会議長として活躍し、平成15年10月から2年間 されました。 常任委員会委員長などを歴任 在職され、この間、 連続5期17年間にわたり 市議会議員に当選して以 経済環境

については、

績が認められ、従六位旭日双地方自治の発展に寄与した功 光章が授与されました。 永年にわたり、市政および

らご冥福をお祈りいたします。 ここに、生前を偲び、心か

施していく。

般車両

たしている。 などの安全 緊急車両や

をもとに整備手法などを検討 査を実施中であり、この結果 調査や権利関係などの基礎調 人見地区については、現

も用地の確保が不可欠であり、 今後、事業を進めるために 路拡幅工事なども必要となる。 共下水道整備とあわせて道路 皆さんの意見をいただき、公 盤整備にあたっては、地域の も必要となる。人見地区の基 地域の皆さんの協力が何より 整備を実施するにあたり、道 住宅も密集しており、下水道 し、その後説明会を開催した 地区内には狭い道路が多く

するとの説明がありました。

(全会一致で可決すべきも

成の対象外とすることは、

適

規模改造事業と併せて、改築性が指摘されたことから、大

厳しい経営環境に置かれてい 限度があり、民間企業も大変

度を創設したもので、今後も 高齢者で、ともに支え合う制

が平成の名水百選

に選ばれた

ことに伴い、観光振興を図る

また、

「生きた水

・久留里」

を行うこと、歳入については、

ることから、

国や現役世代と

委託料として、300万円を、 里駅整備に関する基礎調査の 費の標準負担額について、

当ではないとの反対意見もあ

する一方で、入院時食事療養

の説明がありました。

委員から、

助成対象を拡大

ついて、老朽化のため、落下室棟の2階を結ぶ渡り廊下に

変化に

《化に伴う現役世代の収入1代の人口減少と雇用形態の

をそれぞれ、

増額は

補正する。 73万4千円

生産強化のため、

小学校の特別教室棟と管理教

の危険性があり、撤去の必要

なる負担の増加を求めるには の伸び悩みなどにより、さら

業で東・西交通広場を結ぶ連

商工費では、副次核整備

絡通路の整備にあ

たり、

久留

4036万4千円を増額補正12億5106万円のうちから、て、平成19年度の実質収支額

て、

と決定)

文教民生常任委員会

審査案件

(議案第5号、

第

議案第

議案第

認定第

認定第

認定第

認定第

請願第

陳情

陳情第

陳情第

7号

今後のスポーツ施設の整備充 況等と有効活用の方策、また、

実などの視点にたって調査

ポーツ施設の拠点として早期 動公園のスポーツゾーンをス た責任と結論付け、内みのわ運 ていくことが行政に課せられ

鴨下四十八

小林喜久男 三浦 二浦 道雄 章

慶悟

に整備拡充されることを望む。

究した結果をとりまとめた。

認定第 6号

認定第 2号

6号

7号

1号

3号

7号

平成20年度君津市一般会計補正予算(第2号)

平成20年度君津市介護保険特別会計補正予算(第1号)

認定第 8号 平成19年度君津市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について

発議案第7号 君津市議会会議規則の一部を改正する規則の制定について

5号 自主共済制度の保険業法適用見直しを求める陳情書

ミニマムアクセス米の輸入停止を求める陳情書

認定第 9号 平成19年度君津市水道事業決算の認定について

2号 高齢者医療制度の改善等に関する請願書

告について

(中間報告)

9 月 25 日

の本会

議において、中間報告を行いま

施設の再整備を最優先に掲げ

本特別委員会としては既存

市民のニーズに一日も早く応え

した。概要は次のとおりです。

既存スポーツ施設の利用状

②既存スポーツ施設の調査報

設の整備と良き指導者が必要

不可欠である。

とすることになりました。 を設置し、閉会中

委員は、次のとおりです。

①既存スポーツ施設

の今後

0

高い目標に挑む人がおり、高

ーツは楽しむ人と技術を磨き

度な技術を身につけるために

公式競技を開催できる施

からなる決算審査特別委員会

の継続審査

の認定については、 よび水道事業の歳

委員10人

入歳出決算

整備計画等について

平成19年度君津市一般会計歳入歳出決算の認定について

平成19年度君津市学校給食特別会計歳入歳出決算の認定について

平成19年度君津市老人保健医療特別会計歳入歳出決算の認定に

平成19年度君津市駐車場事業特別会計歳入歳出決算の認定について

平成19年度君津市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について

平成19年度君津市聖地公園事業特別会計歳入歳出決算の認定について

平成19年度君津市農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算の認定につ

燃料、肥料、飼料、農業資材等の価格高騰に対する緊急対策を求める陳

開催日 8月26日

付議事件】

総合スポーツ施設

者のスポーツ人口を含めると

ポーツと親しんでいる。スポ 延べ40万人以上もの市民がス

特別委員

市長提出議案

として、個人市民税におい 4号、第6号、 を参照) 名などは、 要は次のとおりです。 をそれぞれ審査しました。概 案 等 \mathcal{O} 審 議 結 た議案、 改正に伴い、 審査案件 附金税制を拡充するため、 議案第3号 各常任委員会では、 請願ならびに陳情 議案等の審議結果 (議案第2号~ 議案第 1号 地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する 可決(全会一致) 第7号) 主な改正内容 地方税法の一 議案第 2号 公益法人制度改革に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について 可決(全会一致) 付託さ (議案 君津市税条例の一部を改正する条例の制定について 可決(賛成多数) 君津市都市計画税条例の一部を改正する条例の制定について 可決(全会一致) 君津市ひとり親家庭等の医療費等の助成に関する条例の一部を改正する 可決(賛成多数) て、 た、 条例の制定について 附金税額控除を創 君津市土地開発公社定款の変更について 可決(全会一致)

可決(全会一致)

可決(全会一致)

継続(全会一致)

継続(全会一致)

継続(全会一致)

継続(全会一致)

一致)

継続(全会·

継続(全会-

継続(全会一致)

継続(全会一致)

継続(全会一致)

可決(全会一致)

不採択(賛成少数)

(賛成少数)

(賛成少数)

不採択

からの市県民税の特別徴収千円を増額補正し、公的年金賦課徴収費について、55万3 されることに伴い、本年度中が、平成21年10月から、開始 ム整備を図るものであり、 る規定の改正であるとの説明 体制を構築するため、システ 可決すべきものと決定) がありました。(全会一致 するため、公益法人等に関す あること、固定資産税におい ◆議案第7号 度を導入するなどの改正で 公的年金からの特別徴収 公益法人制度改革へ対応 国などとのデータの授受 総務費のうち、 繰越金につ い、本年度中 設するこ

7 号 の対象外とするものであの方との負担の均衡上、 ◆議案第5号 児童福祉法そ 院時食事療養費の標準負担額助成の対象とするもので、入 庭等の児童について、新たに ずに入所しているひとり親家 については、一 第8号、 の均衡上、助4一般家庭や通8 請願第2号) のであると 成 院 額

あることから、やむを得ない均衡を是正するための改正でなどへの福祉サービスとの不 もので、 ものと決定) 開を望む賛成討論がありまし し、 りましたが、重度心身障害者

学校管理費について、198

(賛成多数で可決すべき 生計相談などを実施 との説明がありました。(全 会一致で可決すべきものと決 1791万1千円を充当する

教育費のうち

母子世帯などの自立支援 円と一般財源の繰越金のうち 教育費国庫補助金189万

すべきとの反対討論がありま

補正する。

ために329万5

千円を増額

(賛成少数により不採

ていくべきであり、不採択と

所要な改善を加え、

定着させ

に向けて、積極的な方策の展

→議案第7号

補正 不採択(賛成少数)

解散し、政府管掌保険に移行保険組合が負担増などにより されるとともに、民間の健康 すべきとの賛成討論がありま きていることなどから、 せざるを得ない事態が生じて

万1千円を増額

により、 方で、 高齢者を支える現役 少子化などの進展

や医療サービスの低下が懸念 度の導入により、高齢者福祉 ・請願第2号 討論では、制

情第5号~第7号) 議案第7号

費のうち農業費について、 着しつつある小糸在来の枝豆 また、君津ブランドとして定 確保するために370万円を、 倉ダム記念館の駐車場をバリ アフリーに配慮し、安全性を)審査案件 (議案第7号、 農林 水産

陳

た、5月の降雨による三田地先の道路で

5月の降雨により崩落し

などにより、

危険

出改良を、ま が生じてい る通量の増加

土木費では、

交

片

円を増額補正する。

災害復旧費では、

6月の大

旧

を実施するために

1165万

た、

広岡地先の生

活道路改良

ありました。 円を増額補正する 雨により被災した をするため、12 よび浦田地先の道路災害復 **全** 大井地先お 会一致で可 との説明が 18万9千

本市のスポーツ登録人口は

②武道館の建設 ①内みのわ運動い 要望事項 ③屋内プールの整備 園の整備

ツ施設利用者は延べ30万人で1万1千人で、年間のスポー

学校開放による校庭 |動場の利用者や高齢

19年度一般会計・特別会計お今定例会に提出された平成 を設置

市議会だより

雸

委員 【副委員長】 【委員長】 安藤敬

磯貝

清

冶

天笠

委 員 長 副委員長 委

岡部順一 鴨下四十八 鈴木良次 池田文男 加藤健吉



分かりやすく、見やすい議会だよりを目指して、皆さんの視点に立った紙面 作りを心がけております。引き続きご愛読をいただきますようお願いします。

ども検討されていることから、産農林水産物の需要喚起なの供給力、競争力の強化や国 対討論がありました。 の供給力、競争力の強化や国や県においても、農林水産業 ると認識しているものの、国り巻く環境は厳しいものであ などにより、農家の経営を取一方で、燃料や肥料の高騰 採択には、いたらないとの 、数により不採択) 一方で、

ず、様々な分野に影響を及ぼ 高騰は、農林水産業のみなら 見として、昨今の原油価格の きるとの賛成意見がありまし が深刻な状況となり、市 対策を求めることは、理解で ることから、国に対して緊急 活にも重大な影響が生じてい 決すべきものと決定) の高騰や景気の後退

会議録の詳細については、インターネットまたは、中央図書館(1階)の地域参考資料コーナーでご覧ください。【9月定例会の会議録は11月下旬から】